



発信 No.2024-37
2025年2月4日
学校法人 大正大学

「^{ばっこ}絵巻に跋扈する妖怪・鬼」を大正大学で開催 ～古典文学に現れる“妖怪や鬼”の魅力に触れてみませんか?～

大正大学（学長：神達知純、所在地：東京都豊島区）では、2025年2月11日（火・祝）に文学部日本文学科特別企画として「絵巻に跋扈する妖怪・鬼」を開催します。

当日は、本学が所蔵する『百鬼夜行絵巻』や『妖怪絵巻』の内容や特徴を紹介するとともに、絵巻研究で著名な山本聡美氏（早稲田大学文学学術院教授）と小峯和明氏（立教大学名誉教授）をお招きし、絵巻に描かれる妖怪や鬼の魅力を解説します。また、個人蔵の絵巻や複製本を用いて、絵巻の見方を実践形式でご案内する予定です。

大正大学日本文学科特別企画「古典へのいざないプロジェクト」2024年度版



参加費 無料 要申込

2025. **2.11** 火・祝
13:30～17:00
(開場 13:00) (終了予定)

大正大学7号館3階731教室

講演テーマ

講演Ⅰ 鬼と人
早稲田大学文学学術院教授 山本 聡美 先生

講演Ⅱ
スポンサー本『百鬼夜行絵巻』を読む
— 絵画が作った物語 —
立教大学名誉教授 小峯 和明 先生

2024年度 学長経費 採択事業 | お問い合わせ 大正大学文学部日本文学科 taisho.nichibun@gmail.com

プログラム 絵巻に跋扈する 妖怪・鬼

| | | |
|-------------|-----------------------------------|-----------------------|
| 13:30 | 開会の辞 | 大正大学文学部日本文学科 古田 正幸 |
| 13:35～13:45 | 講師紹介・「古典へのいざないプロジェクト」紹介 | 大正大学文学部日本文学科 渡辺南里子 |
| 13:45～14:00 | 大正大学所蔵『百鬼夜行絵巻』『妖怪絵巻』紹介 | 大正大学文学部日本文学科 田中 仁 |
| 14:00～15:00 | 講演Ⅰ 鬼と人 | 早稲田大学文学学術院教授 山本 聡美 先生 |
| 15:00～15:10 | 休憩 | |
| 15:10～16:10 | 講演Ⅱ | |
| | スポンサー本『百鬼夜行絵巻』を読む — 絵画が作った物語 — | 立教大学名誉教授 小峯 和明 先生 |
| 16:15～16:55 | 実践：絵巻を見よう! | |
| 16:55 | 閉会の辞 | 大正大学文学部日本文学科 田中 仁 |
| 17:00 | 閉会 | |

講演Ⅰ 鬼と人
早稲田大学文学学術院 教授 山本 聡美 先生
中世絵巻にはさまざまな鬼が登場します。その姿は、人間に近づき、時に恐ろしく、時に頼もしく、世界の矛盾を一身に引き受けているようにも感じられます。ここでは、12世紀末～13世紀に制作された、『銀葉草紙』『源氏物語』『古備大臣入唐絵巻』『長谷草紙』を取り上げて、各々の絵巻に登場する鬼と人間の関係をひもときます。

講演Ⅱ
スポンサー本『百鬼夜行絵巻』を読む
— 絵画が作った物語 —
立教大学 名誉教授 小峯 和明 先生
ニューヨーク・パブリック・ライブラリーには、世界の絵巻を集めているスポンサー・コレクションがあり、日本の絵巻や紙入り本も貴重なものがたくさん収蔵されています。ここでは『百鬼夜行絵巻』が3点もあり、その中の1点には、物語の朗読が添付されており、『平家物語』の場面連が題材になっています。『百鬼夜行絵巻』の大半は、絵だけで言葉はないので、きわめて特異です。ここでは、絵面から作られた物語と絵の関係、妖怪の図像にも着目しながら読み解いていきます。

大正大学所蔵『百鬼夜行絵巻』『妖怪絵巻』紹介
大正大学文学部日本文学科 准教授 田中 仁 先生
大正大学附属図書館が所蔵する重要文化財『百鬼夜行絵巻』写本一冊について、その内容と特徴を紹介します。これまで紹介されたことのない絵巻です、どうぞお楽しみください。

講演者
山本 聡美 先生：早稲田大学文学学術院教授。『九相図』をよみ一灯でめく『死体の美術史』(KADOKAWA/角川選書)、2015年『角川ソフィア文庫』(増補カラー版)、2023年、『闇の日本美術』(ちくま新書、2018年)、『中世仏教絵巻の図像誌——絵巻絵巻「六道輪」九相図』(山川弘文館、2024年)、共著『運至六邊社』(中央公論美術出版、2007年)、『妖怪紙』(中央公論美術出版、2017年)、『日本の文化を築いた鳥獣図像と絵巻物』(あかね書房、2021年)、『鳥獣の文化史』(物議社、2024年)などがある。

講演者
小峯 和明 先生：立教大学名誉教授。『源氏物語』の源氏と藤原の関係を、源氏物語からアソアの源氏、海外所在の文獻群まで世界中に及ぶ、主な著作に、『今昔物語集の形成と構造』(空想書院、1985年)、『宇治拾遺物語の表現研究』(装摩書房、1999年)、『院政期文学論』(空想書院、2006年)、『中世法文化史論』(空想書院、2009年)、『道徳世と外交神話「百鬼夜行絵巻」を読む』(東京新書、2018年)、『世界は絵巻にみちている——東アジア絵巻文学論』(国交書院、2024年)など多数。

「絵巻に跋扈する妖怪・鬼」のポスター

『源氏物語』写本などの貴重な蔵書がある本学附属図書館の協力・連携のもと、日本文学科では、それらを活用して和古書に親しみ、古典文学や古典文学研究の魅力を引き出すことを目的に「古典へのいざないプロジェクト」を開催しています。

過去には、「初心者のための大正大学日本文学くずし字講座」や「和本で親しむ日本古典文学の世界」等を開催し、幅広い年代の多くの参加者が古典の楽しさに触れる機会を創出しており、今回のイベントも当プロジェクトの一環として開催します。

大学生のみならず、中高生や地域の皆様など、古典に興味のある全ての方を対象に、開かれた学びの場を提供します。





【イベント概要】

「絵巻に跋扈する妖怪・鬼」

日 時： 2025年2月11日（火・祝）
13：30～17：00（終了予定） ※開場は13：00

会 場：大正大学7号館3階731教室

参加費：無料

定 員：100名程度

主 催：大正大学 文学部 日本文学科

イベントの問い合わせ先：日本文学科事務室（土日を除く）

nihon_bungaku@mail.tais.ac.jp

申込み：下記 URL もしくは二次元コードよりお申し込みをお願いいたします。

<https://forms.gle/MK1hBTCL3G7tMcCg7>



当日のプログラム：

■ 開会の辞

古田 正幸（大正大学 文学部日本文学科 教授）

■ 講師紹介・「古典へのいざないプロジェクト」紹介

渡辺 麻里子（大正大学 文学部日本文学科 教授）

■ 大正大学所蔵『百鬼夜行絵巻』『妖怪絵巻』紹介

田中 仁（大正大学 文学部日本文学科 准教授）

■ 講演Ⅰ 鬼と人

山本 聡美 氏（早稲田大学 文学学術院 教授）

■ 講演Ⅱ スпанサー本『百鬼夜行絵巻』を読む ―絵画が作った物語―

小峯 和明 氏（立教大学 名誉教授）

■ 実践：絵巻を見よう！

■ 閉会の辞

田中 仁（大正大学 文学部日本文学科 准教授）

◆大正大学 文学部 日本文学科

初年次から専門性の高い少人数のゼミ形式の授業に取り組み、「日本文学」と「日本語学」の二つの分野を中心に日本の言語と文化を探究しています。本学科の特色である「日本文学実践演習」では、本学の附属図書館と連携して、江戸時代以前の資料を実際に学生自身が手にとって、その扱い方や調査方法を学びます。


グローバル化が進み、価値観が多様化する現代において、自らが立っ場としての日本を知り、世界に発信する力を養います。

◆大正大学

大正大学は、設立四宗派の天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗および時宗が協働して運営する大学です。その協働の精神を支えているのが、大正15年（1926）の創立時に本学が掲げた、「智慧と慈悲の実践」という建学の理念です。建学の理念のもとに〈慈悲・自灯明・中道・共生〉という仏教精神に根ざした教育ビジョン「4つの人となる」を掲げて教育研究の活動を展開しています。また、令和2年度文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」に本学の推進する「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」が採択されました。

公式HP：<https://www.tais.ac.jp/>

令和2年度
文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」採択校

「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」

■取材に関するお問い合わせ

大正大学 法人経営戦略課 取材のお申し込みはこちらからお願いいたします：<https://www.tais.ac.jp/user/press/>

電話：03-5394-3025（直通） E-mail：kouhou@mail.tais.ac.jp